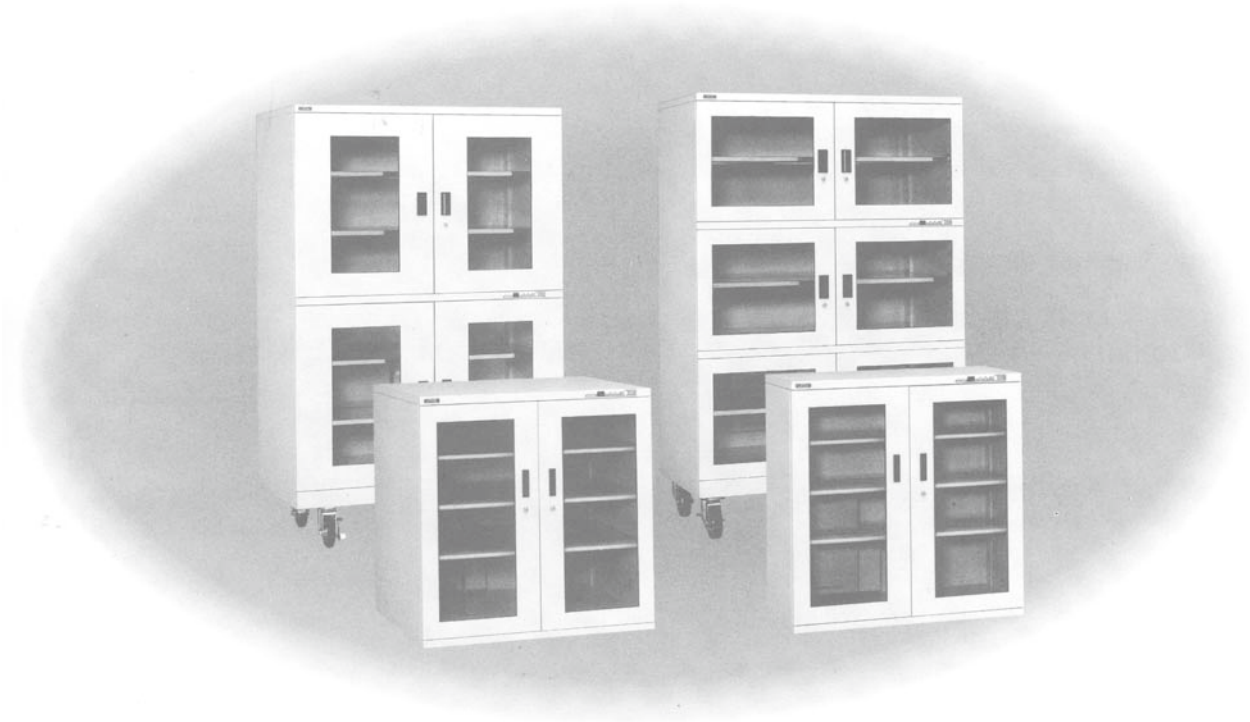
最先端分野の半導体・電子部品から
理化学品、薬品、磁気テープ、
ディスクまで

スーパードライ

全自動電子
超低湿保管庫

取扱説明書

●このたびは スーパードライ をお買い上げいただきまして、まことにありがとうございました。
●**ご使用前にこの取扱説明書をよくお読みのうえ、正しくお使いください。特に安全上のご注意はご使用前に必ずお読みください。**
●お読みになった後も、裏面にある「保証書」とともに保管し、**必要な時にお読みください。**



目　　次

・安全上のご注意・・・・・・・・・・1
・設置場所・・・・・・・・・・・・・1
・スーパードライの特長・・・・・・・2
・各部名称・・・・・・・・・・・・・3
・使い方1（00、01、光触媒クリーン
HEPAクリーン、フィーダー）・・・4
・使い方2（M-tempⅡ）・・・・・・・5
・除湿について・・・・・・・・・・・6
・故障かな？と思ったら・・・・・・・6
・サービスマニュアル・・・・・・・7～9
・自動復帰機能について・・・・・・・10
・製品仕様・・・・・・・・・・・・・10

スーパードライ 全自動電子防湿保管庫 オート・ドライ
〈形状記憶合金実用化第1号機〉

東洋リビング株式会社

東京都通産省産業局長賞
全日本中小企業賞
優秀賞受賞

安全上のご注意

― 電気製品は取扱説明書をよく読んで正しく使いましょう ―

警　告　人体に重大な悪影響（感電・大けがなど）を及ぼす可能性が想定される、絶対に行ってはいけないことを記載しています。

■電子ドライユニットから煙が出たり、異臭がしたら、電源プラグを抜いてください。

電源プラグを抜く

お客様による修理は危険ですので、弊社サービス部にご相談ください。

■電子ドライユニット内部に異物や水などが入ったり、電子ユニットを破損した時は、電源プラグを抜いてください。

電源プラグを抜く

火災・感電の原因となります。

■電子ドライユニットの分解・改造はしないでください。

分解禁止

内部には電圧の高い部分があり、感電の原因となります。

■異物を入れたり、可燃性スプレーを吹き付けないでください。

禁止

電子ユニットの排気口などから内部に指や金属類、燃えやすい物などを差し込まないでください。火災・感電の原因となります。

■電子ドライユニットをぬらす可能性のあるものを置かないでください。また、水のかかる場所での使用はしないでください。

禁止

水がこぼれて電子ユニットに入った場合、火災・感電の原因となります。

■電源コードを破損するような事はしないでください。

禁止

火災・感電の原因となります。傷つけたり、加工したり、重い物をのせたり、加熱したり、熱器具を近づけたり、無理にまげたりねじったり、引っぱったりしないでください。

注　意　障害を負う可能性または物的損害を発生する可能性が想定される、絶対に行ってはいけないことを記載しています。

■電子ドライユニットの排気口をふさがないでください。

禁止

内部に熱がこもり、火災や故障の原因となることがあります。

■ぬれた手で電源プラグを抜き差ししないでください。また、電源プラグを抜くときは、必ずプラグを持って抜いてください。

禁止

感電の原因となることがあります。

■キャビネットの上に乗ったり、重い物を置いたりしないでください。

禁止

倒れたり、落下したりして、けがの原因になることがあります。

■エーテル、ベンジン、LPガス（ガスライター用ボンベなど）、シンナーアルコール、接着剤など揮発性、引火性のあるものは爆発の危険がありますので、絶対に入れないでください。

禁止

■塩酸、硫酸、写真用薬品などは腐食の原因になりますので絶対に入れないでください。

禁止

■ガラス割れに注意してください。

注意

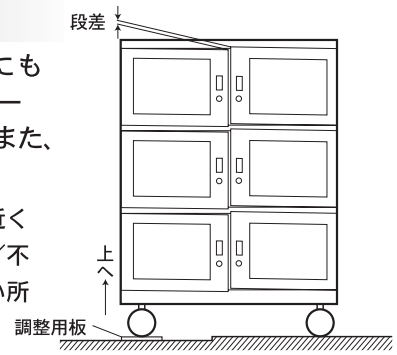
ガラスに物をぶつけたり、強い力を加えたりしますと、ガラス破損によるけがの原因となることがあります。

★異常が発生したときはすぐに電源プラグをコンセントから抜いて弊社サービス部（TEL. 045–841–5511）にご相談ください。★

設置場所

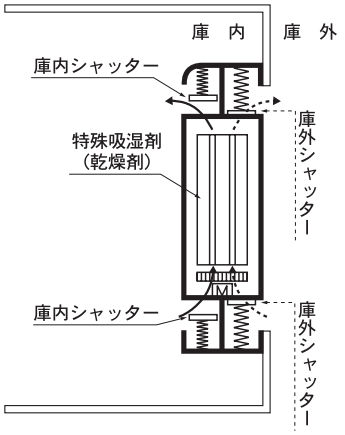
水平で、製品の重量に十分耐えられる場所を選んでください。水平に見える面にも多少の凹凸がある場合があり、扉がズレることがあります。その場合はキャスター（キャスターのない機種は本体）の下に付属の調整用板にて調整してください。また、横倒し、あお向け等の設置はおやめください。

※次のような場所には置かないでください。―エアコンなどの風が直接当たる所／熱器具の近くなど温度が上がる所／油煙や湯気が当たる所／不安定な所／直接日光の当たる所／ほこりの多い所



スーパードライの除湿原理

庫内水分を特殊乾燥剤が吸収します。
ファンを一定時間運転させ、強制循環により吸収速度を向上させています。
一定時間後に庫内シャッターを閉じ、庫外シャッターを開き乾燥剤の吸収水分を加熱して水蒸気として庫外へ放出します。（乾燥剤の加熱再生）
乾燥剤の加熱再生が終了すると、庫外シャッターを閉じ庫内シャッターを開き再び庫内水分を特殊乾燥剤が吸収します。
このサイクルをマイコンにより制御します。



保管品について

スーパードライ は庫内湿度を約０～５０％ＲＨの低湿度に制御します（機種により最低到達湿度は異なります）。
下記のような品物の保管に最適です。

①各種集積回路（モノリシック、ＬＳＩ、ＶＬＳＩ、ＵＬＳＩ、バイポーラ、ＭＤＳ、ＣＣＤ、ハイブリッド、ＭＣＭ等）
②ＩＣ・半導体パッケージ
（ＤＩＰ、ＳＯＰ、ＴＳＯＰ、ＳＤＩＰ、ＳＯＪ、ＳＶＰ、ＣＳＰ、ＫＧＤ、ＰＧＡ、ＱＦＰ、ＢＧＡ等）
③その他各種ＩＣ・半導体関連品、電子部品、シリコンウェハー、他用途多数
④エアロスペース関連品
防湿、脱湿、酸化、劣化防止、クラック対策等にお役立てください。
⑤光学機器（研磨剤光学硝子、液晶機器全般、光センサー測定機の保管）
⑥時計（最新型ウォッチ、モジュール、水晶クオーツ部材、精密仕掛部品の保管）
⑦液晶関連機器｛ＰＤＰ（プラズマディスプレー）検査装置、液晶洗浄機器の保管
液晶偏光用ＴＡＣ（トリアセチルセルロース）の保管、液晶ディスプレー（ＬＣＤ）の仕掛品の保管｝
⑧シリコンウェハー研磨時の仕掛品の保管
⑨ＬＥＤ（発光ダイオード）の仕掛品の保管、ＬＤ（半導体レーザー）部品の保管
⑩有機材料系基板（ＣＦ、ポリミド、エポキシ等）の吸湿防止、超低湿保管

◎その他、あらゆる製品、部品、材料の防錆、防酸化、高輝度保持、防吸湿対策に利用できます（但し、水分の多いもの、液体を除く）。

スーパードライの特長

1. 急速除湿
乾燥剤の加熱再生後、ファンを運転させ、庫内水分を急速に除湿します。

2. 連続除湿（００シリーズ）
２台の電子ドライユニットを交互運転させ、１台が乾燥剤の加熱再生中であっても、もう１台が庫内の除湿を行い連続除湿を可能にしました（スイッチを入れた直後の加熱再生を除く）。

3. 加温機能（M-tempⅡ）
内蔵ヒーターにより２５℃～５０℃に庫内温度を保ち、任意設定にて低温ベーク＋除湿を可能にしました（本機種には冷却機能はありません）。

4. 中間湿度設定
０～５％ＲＨの超低湿だけでなく、（中間湿度６～５０％ＲＨ）に設定でき、多様な保管物ニーズに対応できます（機種により最低到達湿度は異なります）。

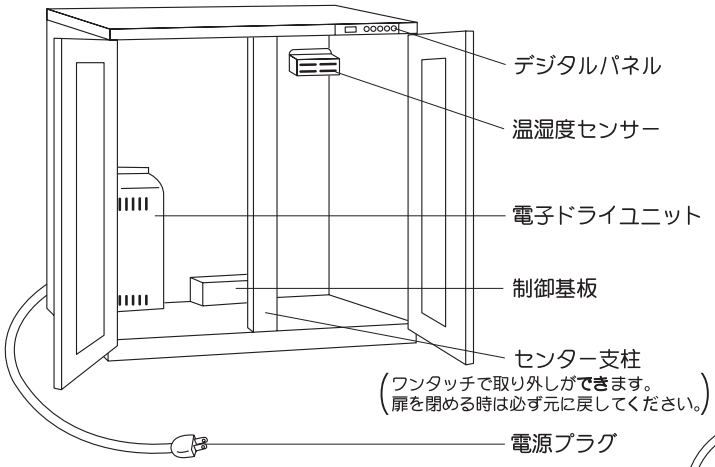
5. 便利なデジタルパネル
湿度設定は扉を開けずに、外部からボタンで操作できます（庫内湿度と温度も確認できます）。

6. 静電気対策
静電気対策塗装、１ＭΩアース線による静電気対策を行っています。

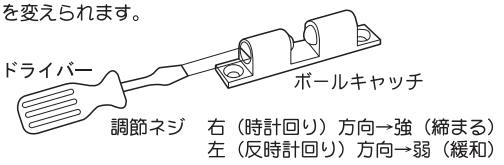
7. ダストフリー対策
ウレタン製キャスターによりダストの発生を防止。

各部名称

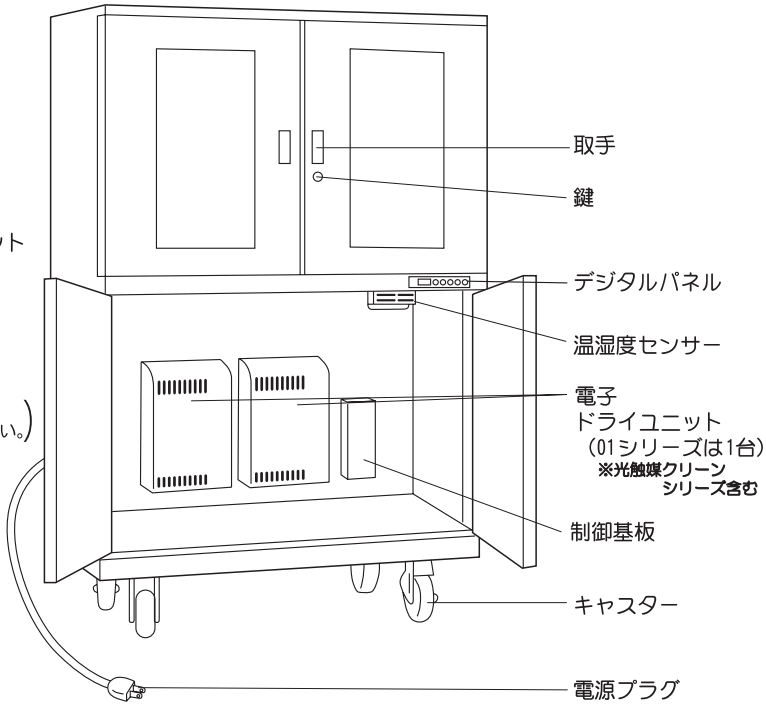
スーパードライ 中型タイプ



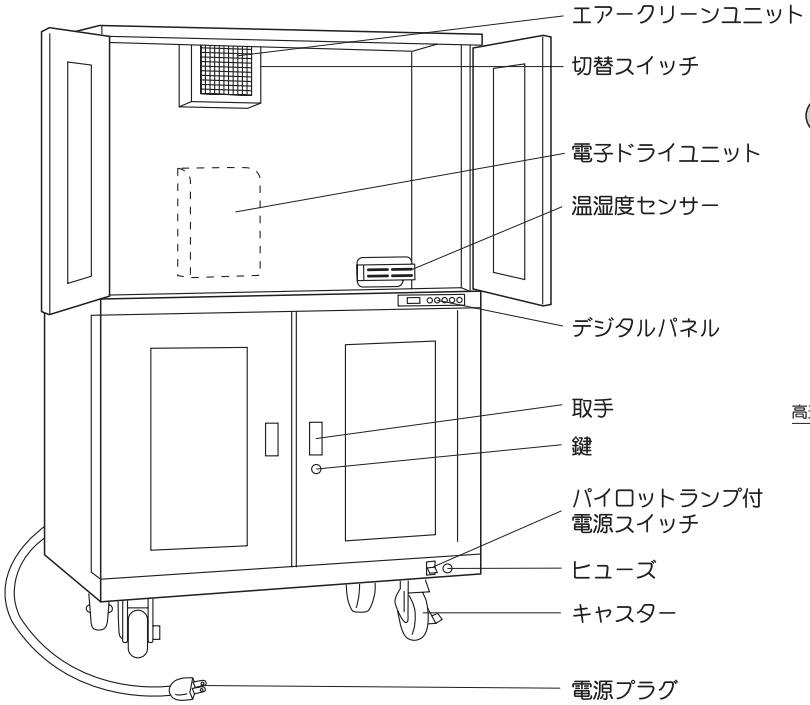
センター支柱のボールキャッチ部は、ネジを調節する事により強さを変えられます。



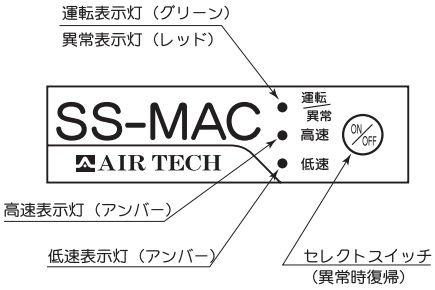
大型タイプ



HEPAクリーン （ミニクリーンルーム）



エアークリーンユニット切替スイッチ部



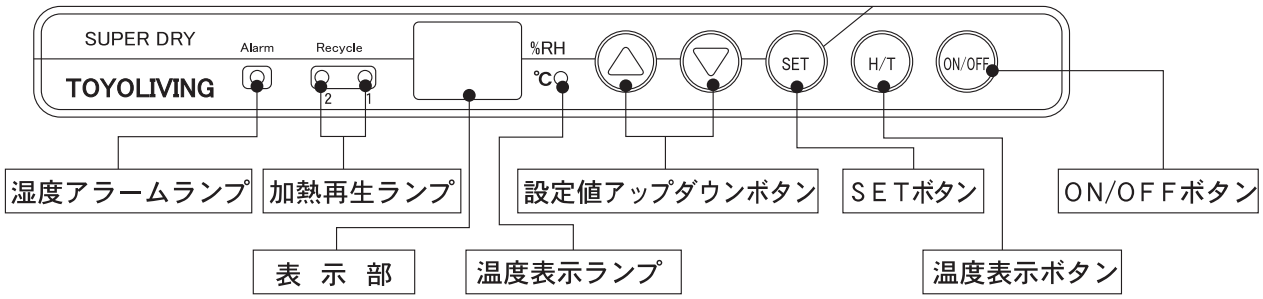
セレクトスイッチを押す事により以下の様に運転が切り替ります。

OFF
（表示灯 消灯）
↓
高速運転
（運転表示灯→グリーン
高速表示灯→アンバー）
↓
低速運転
（運転表示灯→グリーン
低速表示灯→アンバー）
↓
OFFに戻る

異常の時は装置が停止し、異常表示灯が赤く点灯します。またセレクトスイッチを押す事により、通常運転に戻ります。

＊通常は低速運転でご使用ください。

デジタルパネル



使い方1（00、01、スーパークリーンドライ、フィーダー、HEPAクリーンシリーズ）

1. 電源プラグをコンセントに差し込みます。

2. ＯＮ/ＯＦＦを押します。

① 押すと「ＯＮ」になり、表示部に現在の庫内湿度を表示し、**除湿運転を開始**します(初期設定は1%ＲＨです)。
また、**00、01、スーパークリーンドライ、フィーダー** シリーズは電源を入れた初回のみ１分おきに
１番ランプ､2 番ランプの順に加熱再生ランプが点灯します。その後は、湿度制御に応じ、交互に点灯します。
それ以外の機種に関しては、１番ランプのみ点灯します。また何れの機種も加熱再生が終了すると消灯します。

② もう一度押すと「ＯＦＦ」になります。

3. 設定湿度を変えるとき

① ＳＥＴボタンを押します。
数値が点滅を始めます。この点滅している数値が設定湿度です。

② △ボタン又は▽ボタンを押して希望設定湿度に合わせます（初期設定は１％ＲＨです）。
もう一度ＳＥＴボタンを押すと点滅が止まり湿度設定が完了し、現在の庫内湿度表示に戻ります。
(注)設定は機種によらず、１％ＲＨからできます。但し、最低到達湿度は機種により異なります。

4. 庫内温度を表示させる時

① Ｈ/Ｔボタンを押します。
② 温度表示ランプが赤く点灯し、表示部の数字が湿度から温度に変わります。
③ 約５秒後、自動的に温度表示ランプが消灯し、表示部の数字が温度から湿度に戻ります。

5. 湿度アラームを設定する時

○ 湿度アラームとは任意の設定値以上の湿度が任意の設定時間以上続いた場合湿度アラ ームランプを
点滅させる機能です 。

① ▽ボタンとＳＥＴボタンを同時に押します。
表示部の数値が点滅に切り替わります。この点滅している数値が湿度アラーム設定値です。

② △または▽ボタンで、希望のアラーム設定値に合わせます。
（初期設定はーーで、設定は無効となっており、▽ボタンを押すと９９，９８と減少します）

③ もう一度ＳＥＴボタンを押すと表示部の数値と右下のドットが点滅を始めます。
この点滅している数値が始動開始時間の設定値です(**設定値は分単位です**)。

④ △または▽ボタンで、希望の始動開始時間設定値に合わせます（初期設定は３０分です）。

⑤ もう一度ＳＥＴボタンを押すと点滅がとまり湿度アラーム設定が完了し、現在の庫内湿度表示に戻ります。
設定後に設定条件を満たしたとき湿度アラームランプが点滅を開始します。
(例)湿度アラーム設定値を５０％ＲＨ、始動時間設定値を２０分とした場合、５０％ＲＨ以上が２０分間
続いた場合にアラームランプが点滅します。

6. ボタンロックをかける場合

① 電源ＯＮ状態の時にＨ/Ｔボタンを押しながらＳＥＴボタンを３秒間以上押し続けてください。
② ロック機能が働き、全ての操作が無効となり、現在の設定で動作し続けます。
③ ＳＥＴボタンを５秒以上押し続けると、設定ロックは解除されます。

7 HEPAクリーン のみ

① 右下のパイロットランプ付電源スイッチをＯＮにします。
② エアクリーンユニットの切り替えスイッチ部のセレクトスイッチを押すことにより、ＯＦＦ→高速運転→
低速運転→ＯＦＦに戻るの様に運転が切り替わります **(通常は低速運転でご使用ください)。**
セレクトスイッチは１度セットしますと、メモリ機能により７日間はセット内容を記憶していますので
右下のパイロットランプ付電源スイッチによりセットした内容でＯＮ/ＯＦＦできます。

＊ エアクリーンユニットは必ずＯＮにして使用してください。ＯＦＦで使用されますと除湿性能が悪くなり
ます。

8. ドアアラームを設定するとき（オプション）

○ ドアアラームとは、扉の開放直後から任意の設定時間が経過した場合にブザーを鳴らす機能です。

① △とＳＥＴボタンを同時に押します。

② 表示部の数値が点滅に切り替わります。この点滅している数値がドアアラーム設定値です。
△または▽ボタンで、希望のアラーム設定値に合わせます。
（初期設定は２で、△ボタンを押すと３，４と増加し▽ボタンを押すと１，０と減少します。また、設定値
は分単位となっています）

③ もう一度ＳＥＴボタンを押すと点滅が止まりドアアラーム設定が完了し、現在の庫内湿度表示に戻ります。

使い方２（M-tempⅡ）

１. 電源プラグをコンセントに差し込みます。

２. ＯＮ/ＯＦＦを押します。

① 押すと「ＯＮ」になり、表示部に現在の庫内湿度を表示し、**除湿運転を開始**します(初期設定は1%ＲＨです)。
また、 電源を入れた初回のみ１分おきに１番ランプ、 ２番ランプの順に加熱再生ランプが点灯します。
その後は、湿度制御に応じ、交互に点灯します。加熱再生が終了すると消灯します。

② もう一度押すと「ＯＦＦ」になります。

３. 設定湿度・温度を変えるとき

① ＳＥＴボタンを押します。
数値が点滅を始めます。この点滅している数値が設定湿度です。

② △ボタン又は▽ボタンを押して希望設定湿度に合わせます（初期湿度は１％ＲＨです）。

③ もう一度ＳＥＴボタンを押すと点滅が止まり湿度設定が完了し、**温度設定になります。**
この時も数値は点滅していますので、△ボタンまたは▽ボタンを押して希望設定温度に合せます（初期温度は25℃です）。

④ もう一度ＳＥＴボタンを押すと点滅が止まり温度設定が完了し、現在の庫内湿度表示に戻ります。

(注1)湿度設定は機種によらず、１％ＲＨからできます。但し、最低到達湿度は機種により異なります。
(注2)温度設定は、２５℃～５０℃の範囲で１度刻みで設定できます。但し、本製品には冷却機能はありません。

４. 庫内温度を表示させる時

① Ｈ/Ｔボタンを押します。

② 温度表示ランプが赤く点灯し、表示部の数字が湿度から温度に変わります。

③ 約５秒後、自動的に温度表示ランプが消灯し、表示部の数字が温度から湿度に戻ります。

５. 湿度アラームを設定する時

○湿度アラームとは任意の設定値以上の湿度が任意の設定時間以上続いた場合湿度アラームランプを点滅させる機能です。

① ▽ボタンとＳＥＴボタンを同時に押します。
表示部の数値が点滅に切り替わります。この点滅している数値が湿度アラーム設定値です。

② △または▽ボタンで、希望のアラーム設定値に合わせます。
（初期設定はーーで、設定は無効となっており、▽ボタンを押すと９９，９８と減少します）

③ もう一度ＳＥＴボタンを押すと表示部の数値と右下のドットが点滅を始めます。
この点滅している数値が始動開始時間の設定値です。

④ △または▽ボタンで、希望の始動開始時間設定値に合わせます（初期設定は３０分です）。
もう一度ＳＥＴボタンを押すと点滅がとまり湿度アラーム設定が完了し、現在の庫内湿度表示に戻ります。

⑤ 設定後に設定条件を満たしたとき湿度アラームランプが点滅を開始します。
(例)湿度アラーム設定値を５０％ＲＨ、始動時間設定値を２０分とした場合、５０％ＲＨ以上が２０分間続いた場合にアラームランプが点滅します。

６. ボタンロックをかける場合

① 電源ＯＮ状態の時にＨ/Ｔボタンを押しながらＳＥＴボタンを３秒間以上押し続けてください。
ロック機能が働き、全ての操作が無効となり、現在の設定で動作し続けます。

② ＳＥＴボタンを５秒以上押し続けると、設定ロックは解除されます。

７. ドアアラーム設定するとき（オプション）

○ドアアラームとは、扉の開放直後から任意の設定時間が経過した場合にブザーを鳴らす機能です。

① △とＳＥＴボタンを同時に押します。
表示部の数値が点滅に切り替わります。この点滅している数値がドアアラーム設定値です。

② △または▽ボタンで、希望のアラーム設定値に合わせます。
（初期設定は２で、△ボタンを押すと３，４と増加し▽ボタンを押すと１，０と減少します。また、設定値は分単位となっています）

③ もう一度ＳＥＴボタンを押すと点滅が止まりドアアラーム設定が完了し、現在の庫内湿度表示に戻ります。

除湿について

・湿度設定に応じて、乾燥剤の加熱再生を行います。
この時庫外シャッターが開き、乾燥剤に吸着した水分を庫外へ排出します。その際、庫内の温度と湿度が上昇しますが、故障ではありません。

・設定湿度より下がると除湿動作を止めます。時間が経過して湿度が設定値より上昇すると再度除湿動作を始め、この繰り返しで湿度を制御します。従いまして庫内湿度は設定値の前後を推移します。

・乾燥剤の加熱再生終了後、ユニット内のファンを動作させ急速除湿を行います。
ファン動作中は、わずかに回転音がします。

・保管品を入れますと、保管品に含まれる水分の影響で一時的に庫内湿度が上がります。

・冷暖房による温度変化や、昼と夜との温度差によって同じ水分量でも庫内湿度は変化します。
（温度が上（下）がると湿度は下（上）がります）

・加湿機能はありませんので湿度設定を高くしても周囲湿度より高くすることはできません。

・乾燥剤の加熱再生中は庫外シャッターが開き、除湿ユニット及びその付近が熱くなりますが、異常ではありません。また背面に水蒸気が付着することがあります。

・除湿ユニットの乾燥剤は交換不要です。

・すでに発生したカビは除去できません。

・濡れた物を乾かす乾燥機としての能力はありません。

故障かなと？思ったら

●表示部に数字が出ない

・ＯＮ/ＯＦＦスイッチがＯＦＦになっていませんか?
・電源プラグが抜けていませんか?
・電源ヒューズやブレーカーが切れていませんか?
・停電ではありませんか?

●湿度が下がらない

・設定湿度が高くなっていませんか?
・保管品を入れたばかりではありませんか?
・湿り気のある物を多く入れていませんか?
・扉がきちんと閉っていますか?
・扉の開閉が多くありませんか?
・センター支柱付タイプでセンター支柱を外したままで使用していませんか?

●設定湿度にならない

・外気湿度より高く設定していませんか?
加湿機能が付いていませんので、外気湿度以上にはなりません
・加熱再生ランプが点いていませんか?
加熱再生中は湿度が上昇します
・シャッター部(ユニット内)にわずかに隙間があるため、除湿剤に除湿能力がある場合、設定値に達した後、湿度が徐々に下がり続ける場合があります

上記の確認の結果、原因がはっきりしない場合、次ページのサービスマニュアルを参照してください。

このような時には

	症　　状	原　　因
お調べください	デジタルパネル部に数字が出ない	・電源プラグが抜けていませんか？ ・電源ヒューズやブレーカーが切れていませんか？ ・停電ではありませんか？ ・ON/OFFスイッチがOFFになっていませんか？
	デジタルパネルに”Er”と表示される	・湿度センサーと制御基板間のハーネスの接触不良です。各コネクタのハーネスの接触を確認してください。
	温度表示ランプが点滅している（M-tempシリーズのみ）	・庫内が60℃以上の温度になっています。電源を切り、弊社へ連絡してください。
故障ではありません	ドライユニットが熱くなる	・乾燥剤に吸着した水分をヒータで再生している為です。
	設定湿度にならない	・デジタルパネルの湿度設定を外気湿度より高く設定していませんか？（加湿機能が付いていませんので、外気湿度以上にはなりません。）
	湿度が下がらない	・デジタルパネルの湿度設定が高くなっていませんか？ ・保管品を入れたばかりではありませんか？ ・湿り気の有る物を多く入れていませんか？ ・扉がきちんと閉まっていますか？ ・扉の開閉が多くありませんか？ ・センター支柱付タイプでセンター支柱を外したままで使用していませんか？

・「このような時には」を確認後、それでも異常が認められるときは、以下の項目をチェックしてください。

ドライユニット動作のチェック項目

電源プラグをコンセントへ差し込み、湿度コントローラーをＯＮにすると下記のパターンでドライユニットが動作します。

	動作内容	異常動作の場合の要因
1.	コントローラースイッチをONにすると、すぐに庫外側シャッターが開きます。 (00、フィーダー、M-tempシリーズはコントロールスイッチをONにすると、1台目のユニットが、その1分後に2台目のユニットの庫外側シャッターが開きます。)	・制御基板上コネクタCN4の2番5番端子間に定格電圧が出ていますか はい → 整流基板の緑-赤リード線間に定格電圧が出ていますか いいえ → 制御基板不良 はい → ｿﾚﾉｲﾄﾞは動作していますか いいえ → 結線不良 はい → ワイヤー外れ、引っ掛り、滑車脱落 いいえ → ソレノイド不良
2.	5分位経過後、庫外側排気口より乾燥剤に吸着した水分がヒーターで加熱され、水蒸気となって排出され約ます。この時の消費電力は100W以上となります。	・制御基板上コネクタCN4の1番5番端子間に定格電圧が出ていますか はい → ﾄﾞﾗｲﾕﾆｯﾄ内ﾏｲｸﾛｽｲｯﾁがﾘﾝｸによりONとなっていますか いいえ → 制御基板不良 はい → ドライユニット内温度ヒューズ溶断 いいえ → ﾏｲｸﾛｽｲｯﾁ取付不良
3.	その後約30分経過後、庫内側シャッターが開き、庫外側シャッターが閉じます。	・制御基板上コネクタCN4の4番5番端子間に定格電圧が出ていますか はい → 制御基板不良 いいえ → バイアスバネの外れ

湿度センサーチェック項目

・校正された湿度計をキャビネットのセンサー近傍に置き、デジタルパネルの表示と比較してください。
差が大きい場合は湿度センサーユニット不良です。

・ドライユニット動作のチェック項目確認の結果、ドライユニット故障の場合にはドライユニットのみを制御基板故障の場合は制御基板のみを取り外し、弊社宛送に付願います。梱包は段ボール箱等に入れ、クッション材を十分入れてください。
修理完了後返送しますので、取り外しとは逆の手順で取付けてください。

ドライユニット取り外し方法

※図は９ページを参照してください。

1. 電源プラグをコンセントから抜きます。
2. PCボックスをとめているネジを外し、内部が見えるように手前側へ回転させます。
3. 制御基板のコネクタ（CN4）に差し込んであるドライユニットのハーネス①を抜き取ります。
この時ロック機構のツメをつまんでロックを解除し、引き抜きます。
4. 端子台に接続しているアース端子⑪を外します。
5. ドライユニットを固定しているネジ⑫４本を外すと、キャビネットからドライユニットが取り外せます。

制御基板取り外し方法

※図は９ページを参照してください。

1. 電源プラグをコンセントから抜きます。
2. PCボックスをとめているネジを外し、内部が見えるように手前側へ回転させます。
3. 制御基板に接続しているコネクター①、②、③、④、⑤、⑥、⑦、⑧を外します。
4. 制御基板を固定しているスペーサーのツメをラジオペンチ等でつぼめ、制御基板を引抜くと取り外すことができます。

湿度センサーユニット取り外し方法

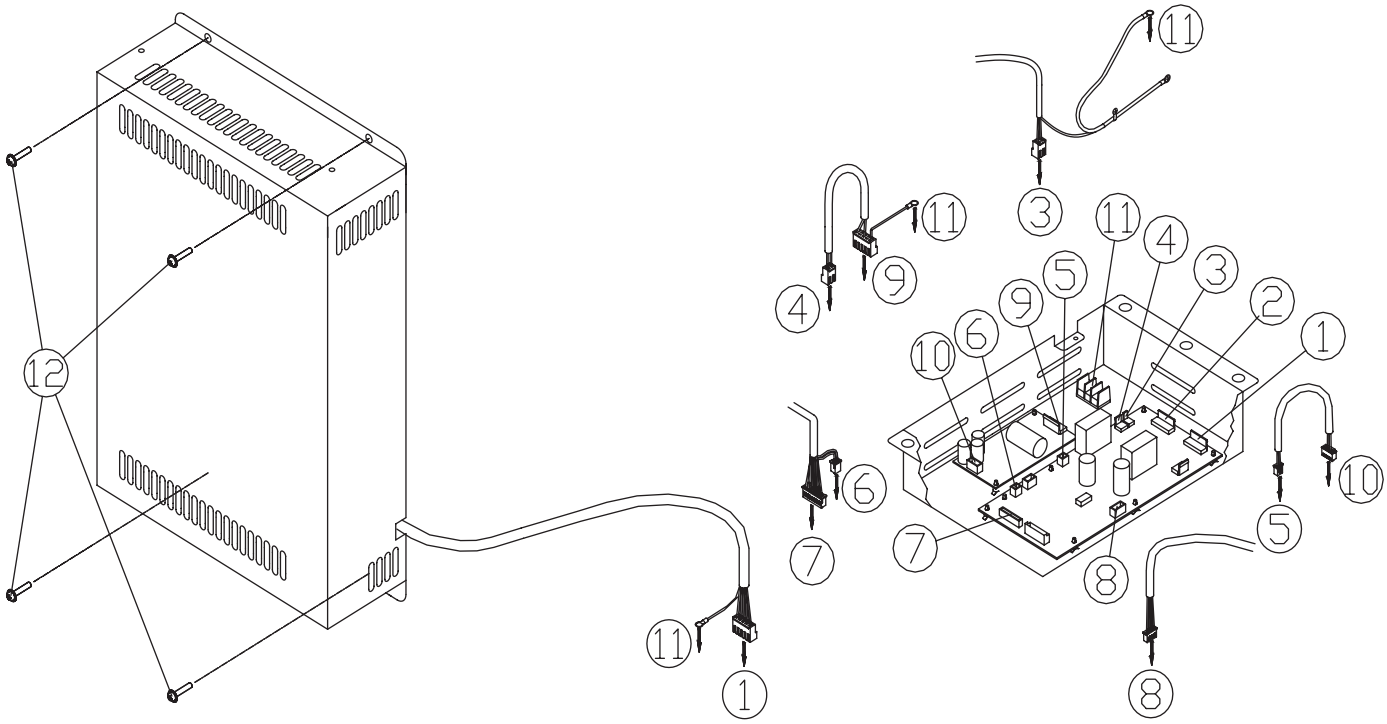
※図は９ページを参照してください。

1. キャビネット右奥にあるセンサーボックスをとめているネジ⑬２本を外します。
2. センサーを固定しているブラケットのネジ⑭２本を外します。
3. 湿度センサーユニットへ接続してあるハーネス⑮を引き抜くと、湿度センサーユニットが取り外せます。

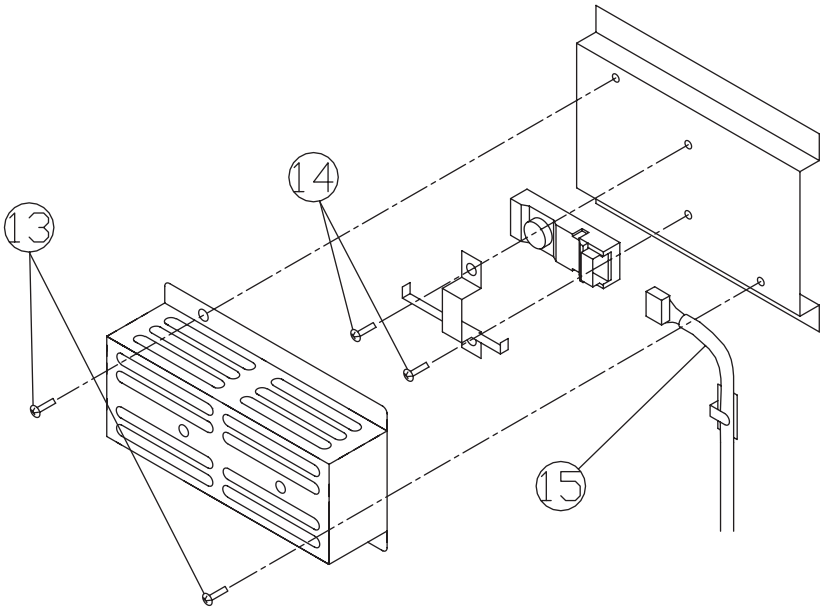
上記ご確認の結果、故障の場合には弊社サービス部までご連絡下の上、
電子ドライユニット故障の場合は電子ドライユニットのみを、制御基板故障の場合には制御基板のみを取り外し、送付願います。

※図は９ページを参照してください。

ドライユニット、制御基板取り外し方法



湿度センサーユニット取り外し方法



異常が発生したときはすぐに電源プラグをコンセントから抜いて
弊社サービス部(TEL.045-841-5511)にご相談ください。

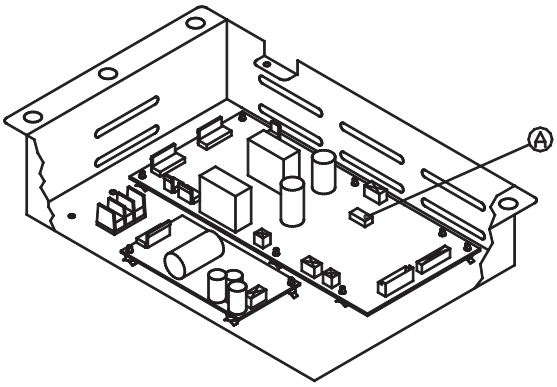
自動復帰機能について

○自動復帰機能とは、停電発生した場合、復帰後に自動的に運転状態に復帰する機能です。

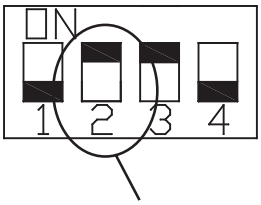
1．電源プラグをコンセントから抜きます。

2．PCボックスをとめているネジを外し、基板が見えるように手前側へ回転させます。

3．右図のに示しているディップスイッチをONまたはOFFにします。
・ＯＮの状態で自動復帰機能が有効になり、ＯＦＦの状態で自動復機能が無効になります
・２番のスイッチ以外のスイッチは絶対に触らないでください。故障の原因となります。
・３番のスイッチは、ユニット一台タイプはＯＦＦ、２台タイプはＯＮになっています。



ディップスイッチ拡大図



２番のスイッチがＯＮのとき、自動復帰が有効
ＯＦＦの時は自動復帰が無効。

製品仕様

型　　名	MSD-1206-01	SD-1106-01T	USD-1106-00	USD-1104-00	SD-1106-01X	SD-1104-01X	SD-702-01X
湿度コントロール	マイコンコントロール式						
湿度センサー	静電容量型						
有効内容量（L）	1190	1198	1189	1192	1198	1201	714
外寸W×H×D（mm）	1240×1860×810	1200×1840×668					620×1840×780
製品質量（Kg）	235	160	167	162	160	155	110
キャビネット	スチール製、静電気対策塗装						
扉	スチール製、静電気対策塗装、ガラス						
定格電圧（V）	AC100V（50/60Hz）						
平均消費電力（W）	370W/h=266.4kW/月	17.2W/h=12.4kW/月	23.5W/h=16.9kW/月		17.2W/h=12.4kW/月		
付属品	スチール又はステンレス棚5、カギ付						

型　　名	SD-502-01X	SD-302-01X	SD-252-01X	SD-151-01X	SDC-1206-01X	SDC-1204-01X	SDF-1104-00
湿度コントロール	マイコンコントロール式						
湿度センサー	静電容量型						
有効内容量（L）	518	347	252	147	1195	1197	1731
外寸W×H×D（mm）	880×898×740	500×1227×640	880×898×380	500×630×580	1200×1840×800		1200×1840×960
製品質量（Kg）	60	60	39	29	198	193	197
キャビネット	スチール製、静電気対策塗装						
扉	スチール製、静電気対策塗装、ガラス						
定格電圧（V）	AC100V（50/60Hz）						
平均消費電力（W）	16.1W/h=11.6kW/月	15.6W/h=11.2kW/月			23.1W/h=16.7kW/月		23.5W/h=16.9kW/月
付属品	スチール又はステンレス棚3、カギ付	スチール又はステンレス棚7、カギ付	スチール又はステンレス棚3、カギ付		スチール又はステンレス棚5、カギ付		

＊本製品の湿度検知精度は±３％ＲＨ(at２５℃　１０～９０％ＲＨ)です。また、
湿度表示は、出力値を四捨五入により、整数値に変換した値を表示します。

※製品は改良に伴い、予告なく仕様を変更させていただく場合がございます。また、収納品の保証は応じかねますので、ご了承ください。

オート・ドライ TOYO LIVING スーパードライ 全自動防湿保管庫の総合メーカー

東洋リビング株式会社

ホームページ　http://www.toyoliving.co.jp

●お問い合せは本社サービス部　●修理は那須工場まで

本　社　横浜市港南区上大岡西1-6-1（ゆめおおおかオフィスタワー22F）

ショールーム　〒233-0002　TEL：（045）841-5511（代）FAX：（045）843-3611

●大阪営業所

那須工場　栃木県那須郡那須町富岡1230-107　TEL：（0287）72-5577